



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

生産

- 【資料名】 肥桶
【年代・来歴】 明治期
【寸法】 (桶) 径40cm、高さ58cm
(柄杓) 径17cm、柄長80cm
【材質】 木製
【保存状態】 概ね良好

【略説明】

写真の肥桶は人糞尿を運搬する容器。主として市街地を運搬するため堅牢に作られている。

人糞尿は鎌倉時代頃から肥料として利用され始めた。江戸時代、江戸や大坂など大都市で発生する人糞尿は即効性肥料として取引され、仲買人組合も作られるほどであった。なお人糞尿の使用は、戦後の下水道の発達とともに廃れたといわれる。



【注記】

所蔵元である愛知県農業総合試験場(本場)は、収集・寄贈された農具等を展示・保存している「農業啓発館」を併設している。ここでは明治から昭和初期にかけて県内の農家で実際に使用されていた米づくりや養蚕などの農機具のほか、民具、生活用具なども展示しており、無料で見学することができる。

また同試験場で改良・開発された「名古屋コーチン」に関するコーナーもある。

- 【所蔵機関】 愛知県農業総合試験場(本場) 農業啓発館
【住所】 長久手市岩作三ヶ峯1-1
【連絡先電話番号】 0561-62-0085(企画普及部経営情報研究室)
【所蔵先URL】 <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nososi/0000061362.html>
【閲覧】 常設展示
開館時間：9時30分～15時30分
休館日：土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
入館料：無料